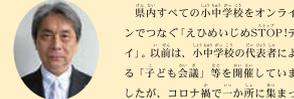


# えひめの子どもたちへのメッセージ

## ～みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために、確かな行動に表そう～



県内すべての小中学校をオンラインでつなぐ「えひめいじめSTOP!デイ」。以前は、小中学校の代表者がいる「子ども会議」等を開催していましたが、コロナ禍で一気に集まったのが困難になったため、オンライン形式での開催に変更したところ、全国でも類を見ない愛媛県ならではの取り組みとして、小中学生と中学生を中心に約23,000人が参加し、みんなでいじめ問題の解決に向けて考える貴重な機会に発展しました。

3年目となる今年度は、「みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために」をテーマに、事前に配信したミニ動画や演劇による問題提起、リアルタイムでのアンケートなどを通して、熱心な議論が行われました。その中で意見として出された、「自分自身を見つめること」や「友達との個性や考えの違いを認めること」が、ライブ授業でもお話しが「人よりよく知る方法」に通じるものであり、児童生徒の皆さんが互いに真摯に向き合っている大変心強く感じました。

「えひめいじめSTOP!デイ」は、いじめ問題の解決に向けた一つのステップです。次のステップは、皆さんが、今後、確かな行動につなげていくことです。話し合ったことを、日常の行動に表すことで、変化が生まれます。ほんの小さなことでも、積み重ねていくと、必ずや大きな変化をもたらすことができます。いじめの起これば「学校・学校づくりに向け、皆さん一人ひとりが考え、実践してほしい」と願っています。

保護者や地域の皆様、子どもたちが学級で安心して学べる環境を作るためには、いじめ問題について当事者意識をもつ考え、地域社会全体で人を尊重する精神の醸成や、いじめを見逃さない勇気や意識を醸成することが大切であると考えます。子どもたちの考えや意見を尊重しながら、いじめの性質を見守り、支えていただきますようお願いいたします。

最後に、「えひめいじめSTOP!デイ」の開催に当たり、ご理解とご協力をいただいた皆様に、心から感謝申し上げます。

愛媛県教育委員会  
人権教育課  
2024年(令和6年)  
2月発行

# えひめ愛顔の子ども新聞

## 小中学生 約23,000人が参加



## みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために

### 県内一斉ライブ授業 えひめいじめSTOP!デイ開催

令和5年11月16日(木)、宇和島市立南子文化会館をメイン会場に、県内すべての市町をオンラインでつなぐ一斉ライブ授業「えひめいじめSTOP!デイ」が開催されました。小中学生と中学生を中心に約23,000人が参加し、みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるためにはどうすればよいかについて話し合い、考えを深めました。

ライブ授業の前半では、昨年と同じように劇を鑑賞し、自分が劇の登場人物の立場だったら、どのような行動を取るのかについて各学級で話し合いました。リモートでつながった各校から、「そっとしておいてほしい気持ちと声を掛けたい気持ちがある」など、多様な意見が出されました。後半は、「みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために必要なこと」においてライブアンケートを実施。約18,000人の回答は、「普段から様々な人と関わること」意見を最初から否定せず、まずは受け止めることが大切」といった意見など、何でも言い合える環境や人との信頼関係をつくることの大切さについての意見が熱く交わされました。



## 小5～中2のみんなに聞いてみた!

### 自分のこと・友達のこと・人とながらること

コロナ禍で遊びや学習に様々な制限があり、人との関わりが極端に少なくなりました。新しい思いや経験した人も多かったことでしょうか。そこで、今、小中学生のみんなは、周りの人との関わりについてどう感じているのか、それが心や体の健康とどうつながっているのかについて調べてみました(令和5年6～7月、県内の公立小中学生約44,000人を対象にアンケートを実施しました)。



## 相談窓口

いじめ相談ダイヤル24  
SNS相談ほっとえひめ  
中高生専用  
SNS相談ほっとえひめ  
電話相談(平日) 0120-781310  
学校で配られているチラシやしおりのQRコードから友達登録して!

## ライブ授業前編

今年もセンター校とリモート校では、「事前ワークショップ」を行った。ゲームを通して、友達のことをもっと知り、差別ワークショップで相手の立場に立って考えたりしたよ。



## センター校

- 宇和島市立南島小学校
- 宇和島市立城東中学校

当日の模様を、実は、私たちの取材陣が事前に訪ねてみた。話をきいてみると分るが、みんなの「自分らし」が輝きだしたよ。



## リモート校

- 新居浜市立中森小学校
- 高島市立岩城中学校
- 伊予市立北山崎小学校
- 松山市立立上中学校



## サテライト校 408校

今回はライブ授業の前編にミニ動画を観て、ご自分の生活を振り返り、ワークを仕上げたよ。

- 安心して過ごせる楽しい学校ってー?!
- お話ししよう
- いいことをすると

愛媛県 YouTube 公式チャンネルで公開中。みんな見てね。

### ゲストから

#### スペシャルゲスト あばれる君

小中学生の真実な話や、熱くもった演劇を振り返りながら、「福んでいける」とは、友達に話すと案外になる。縁が気になる友人がいたら、「大丈夫」「福んでいけることがあったら言ってね」といった声掛けがあった。また、目の友人とのよりよい関係づくりについては、「自分に厳しくしすぎないといい。そうすることで自分は楽になった」と、自分の経験をお話して、子どもたちにエールを送りました。

### アドバイザーから

#### 西原勝利先生 (愛媛県教育カウンセラー協会代表)

「みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるためには、日々の関わりが大切でアドバイスされました。縁が気になる友人がいたら、「大丈夫」「福んでいけることがあったら言ってね」といった声掛けがあった。また、目の友人とのよりよい関係づくりについては、「自分に厳しくしすぎないといい。そうすることで自分は楽になった」と、自分の経験をお話して、子どもたちにエールを送りました。」



### ライブ授業後半

「みんなと違うな」と感じることに気づいたこと、人とながらること、友達とのコミュニケーション、話し合い、自分の意見、友達との関係、自分自身を見つめること、友達との個性や考えの違いを認めること、いじめ問題の解決に向けた一つのステップ、確かな行動につなげていくこと、話し合ったことを日常の行動に表すこと、いじめの起これば「学校・学校づくりに向け、皆さん一人ひとりが考え、実践してほしい」と願っています。

### まとめ

「みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために」をテーマに、事前に配信したミニ動画や演劇による問題提起、リアルタイムでのアンケートなどを通して、熱心な議論が行われました。その中で意見として出された、「自分自身を見つめること」や「友達との個性や考えの違いを認めること」が、ライブ授業でもお話しが「人よりよく知る方法」に通じるものであり、児童生徒の皆さんが互いに真摯に向き合っている大変心強く感じました。



## ライブ授業中編 わたしのホンネ

### 「みんなと違うな」と感じるころ

- よく聞かされてしまうこと
- 運動が苦手なこと
- 人に話しかけるのが苦手なこと
- 友人数が多い/少ない友達が多いこと
- スマートフォンを持っていないこと
- オンラインでの授業についていけないこと
- お友達とコンフレックス
- 周りの意見が聞きすぎること
- 持ち物や服装を指摘されてしまうこと
- 無理して受けていること多いこと
- 人と友達とあまり話さないこと
- 言いたくない、答えないこと

みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために大切なこと

- 話し合い(聞いて)と自分も発言でき、それをみんなで話し合える環境づくり
- 人を尊重していること
- 自分を尊重して勝手に決めつけないこと
- みんながいじめのことについて理解すること
- 相手だけでなく、自分も変わる

## みんなも思ったよ

自分とは異なっている。だからといって、このクラスで話しかけたり話さなくてもいい。みんなを尊重し合える環境にしたいです!



## ライブ授業後編

### 「えひめいじめSTOP!デイ」後のアンケートに、皆さんの回答・意見が届けました。

ライブ授業のあと、どのようなことに気づけて生活していきましょうか。複数回答可	回答数
自分自身を見つめること	10,839
一人を認めないこと	11,249
人任せで自分も行動すること	12,190
友達と話し合えること	10,955
友達と関わりを持つこと	9,685

「えひめいじめSTOP!デイ」後のアンケートに、皆さんの回答・意見が届けました。

「えひめいじめSTOP!デイ」後のアンケートに、皆さんの回答・意見が届けました。

「えひめいじめSTOP!デイ」後のアンケートに、皆さんの回答・意見が届けました。

### 令和5年度 人権ポスター特選作品

#### 人権尊重の意識を高めるためのポスター展

令和5年度は、小学校・中学校・高等学校等から計45,135名の作品が寄せられ、審査の結果、5点が特選作品として選ばれました。

### 「見えなからこそ 敬愛と愛を」

高島市立東雲中学校 3年 越智 彩葉 さん

「見えなからこそ 敬愛と愛を」

### 「心を温めて、個性を認め合おう」

宇和島市立南島小学校 4年 藤田 真代 さん

「心を温めて、個性を認め合おう」

### 「人生 自分色で」

愛媛県立南島高等学校 1年 木原 涼帆 さん

「人生 自分色で」

### 愛媛大学教育学部の学生の皆さんから

愛媛大学教育学部 学生 皆さんの声

### 今年度は中学校から発信します

令和5年度愛媛県の小中学校をセンター校と一斉ライブ授業「えひめいじめSTOP!デイ」を行い、これまでと同様に、県内全域に人間関係構築の力を発揮し、人とながらること、話し合い、自分の意見、友達との関係、自分自身を見つめること、友達との個性や考えの違いを認めること、いじめ問題の解決に向けた一つのステップ、確かな行動につなげていくこと、話し合ったことを日常の行動に表すこと、いじめの起これば「学校・学校づくりに向け、皆さん一人ひとりが考え、実践してほしい」と願っています。

### ライブ授業後アンケート

「えひめいじめSTOP!デイ」後のアンケートに、皆さんの回答・意見が届けました。

### すごいね!

みんなも自分ごとから行動しよう!